

道母連だより



着任のご挨拶
北海道保健福祉部子ども政策局
子育て支援担当局長
堤 俊輔

この4月に子育て支援担当局長に着任いたしました堤でございます。

貴会におかれましては、ひとり親家庭への支援の窓口となる北海道母子福祉センター及び母子家庭等就業・自立支援センターの運営、雇用の確保につながる公共施設での清掃業務や保育事業の受託、子どもを応援するための民間企業と連携した奨学金の給付など、道内各地において様々な場面で、ひとり親家庭の方々を支え、福祉の向上や自立促進にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。
さて、昨年12月に「こども大綱」

が閣議決定され、今年度、道ではこの大綱を勘案した「都道府県こども計画」を策定し、全ての子ども

若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができ、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組を進めてまいります。計画策定の過程では、パブリックコメント等、皆様のご意見を頂戴する機会がございますので、その際は、忌憚のないご意見をいただければと思います。
また、児童扶養手当につきましては11月受取分から所得制限の限度額の引き上げ等、児童手当につきましては12月受取分から高校生

■第101号■

発行日/令和6(2024)年9月1日
発行/社会福祉法人 北海道母子福祉連合会
〒060-0003
札幌市中央区北一条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山崎しげり先生 ●印刷 樹アイワード

までの児童が対象になるなど、それぞれ制度改正が予定されておりますので、道民の皆様への丁寧な周知と円滑な実施に向けた準備を進めてまいります。

このほか、暮らしのサポートとして、母子・父子自立支援員による相談対応や各種貸付金事業、就労のサポートとして、母子家庭等就業・自立支援センターでの就業支援、安定就労に結びつく資格取得に向けた給付金事業、養育費確保に向けた弁護士による相談支援事業を行うなど、きめ細やかに施策に取り組んでまいります。

最後になりますが、今後とも、道民の皆様が安心して子どもを産み育てることができ、全ての子どもたちが健やかに希望をもって成長できる環境づくりに努めてまいりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を承りますようお願いいたします。

道母連研修会を終えて

理事長 畑 和子

道母連の事業の推進、活動にご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。コロナの感染症に戦々恐々としながら、道母連研修会が開催できたことで活動に自信が付き、みんなの心が一つになったことを感じました。

反面、会員の高齢化、役員になり手不足、加入率の減少など共通の問題を抱えています。みなで知恵を出し合い、声を掛け合いまたひとつ困難な山を乗り越えていきたいものです。

この度の研修会では、若い世代も多く、明るく、潤いを感じました。集まることは楽しいし、みんなが笑顔になります。

ひとり親家庭に寄り添い、励まし、奨学金事業を「知らなかった」ということのないように奨めていきます。会員同士の支え合い、若い世代の参加、デジタル化への取り組みなど、行政、関係機関とも連携して推進していきたいと、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年度

道母連研修会

「道母連研修会」の名のもとに広く会員の皆さまにご参加いただく計画は、コロナ第5類移行により5年ぶりに開催の運びとなり、全道各地から69名の参加がありました。行政説明や講演、研修討議などを実施し、初めて参加される若い顔ぶれもあり、次世代に繋がる研修会になりました。

新型コロナウイルス感染症により全道の会員が一堂に会する「道母連研修会」は、開催見送りの日々が長く続きました。令和元年まで「全道単体会長会議」として開かれた会議は、社会福祉法人になって以来内容を変更してきました。

新型コロナ感染症により全道の会員が一堂に会する「道母連研修会」は、開催見送りの日々が長く続きました。令和元年まで「全道単体会長会議」として開かれた会議は、社会福祉法人になって以来内容を変更してきました。

とき 令和6年6月29日(土)
ところ 北海道母子福祉センター

メインテーマ (全国統一活動テーマ)

「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」



ご来賓の方々
 ご挨拶の北海道保健福祉部子ども政策局
 子ども家庭支援課和田宏一課長



開会式



主催者あいさつ 畑和子理事長



全道各地からの参加者



奨学生の卒業後の状況報告

左から 田中菜美さん 天野美絵さん
 前小屋みゆきさん 西川雅美さん、涼夏さん
 障がい者施設に勤務する涼夏さんの頼もしい報告



行政説明

和田課長と家庭支援係近藤洋平主査



職員紹介

本部事務局・貸室・食堂・清掃事業部・
 母子家庭等就業・自立支援センターの方々



サンセイルさん、
 堀内さん盛況



昼食・休憩

業者さんの商品説明を
 聞きながら昼食

プログラム

- 10:30 開会式
 - 開会のことば
 - 黙 禱
 - 「母に幸あれ」斉唱
 - 主催者あいさつ
 - 社会福祉法人
 - 北海道母子寡婦福祉連合会理事長
 - 来賓あいさつ
 - 北海道保健福祉子ども政策局
 - 子ども家庭支援課課長
 - 来賓紹介
- 10:50 行政説明
 - 北海道保健福祉子ども政策局
 - 子ども家庭支援課
- 11:30 奨学生の卒業後の状況報告
 - ……昼食・休憩……
- 13:00 講 演
 - 演題「十人十色の個性を大切に
自分らしさを受け入れる効果とは」
 - 講師 フィレロカラーコーディネーター
小田桐 加代子氏
- 14:05 研修討議
 - 提言発表「目指そう自立、活かそう支援策」
 - 函館市母子寡婦福祉会会長 東 佳子
 - 意見交換会「今後の団体運営について」
- 15:00 閉会式
 - 「生き抜く白百合」斉唱
 - 閉会のことば



数種のカラー布で自分に似合う色を



講師の小田桐加代子さん



個性に合った色を見つけるためお互いにチェック

意見交換会 「今後の団体運営について」



座長の評議員小林敬子さん、
青木枝美子さん



提言発表 「目指そう自立、活かそう支援策」

研修討議



函館市母子福祉会東佳子理事長



令和6年度共同募金助成金は、4ブロック研修会、広報紙発行に充たさせていただきます。ご報告し、お礼を申し上げます。



監事千葉俊幸先生の講評

令和6年度 理事・評議員・地区連会長会議



研修会前日の6月28日に開催されました

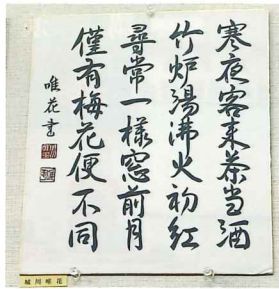
道南

書写書道の楽しさを 子ども達に伝えたい

苫小牧市 城川 唯花
(静岡県在住)

私は今、静岡県で書写書道子ども達に教える塾の講師として働いています。小学校1年生の時に習い事として書道教室に通い、中学、高校まで続けていました。高校でも書道部に所属し、将来も書道に関わる仕事がしたいと考えるようになり、高校を卒業後は地元を離れ滋賀県にある書道の専門学校に通いました。1年間書道漬けの毎日を送り、今年からは静岡県の書写書道の塾の講師として就職が決まりました。

専門学校に行きたいと伝えた時も静岡に就職が決まった時も母はいつでも応援してくれました。学校見学や入学式、卒業式も北海道



専門学校での作品



高校の卒業式



子ども達を指導中

から駆けつけてくれて、本当に感謝しています。

私が好きな事を仕事にしたいと思いついたのは母の支援・応援ももちろんですが北海道母子寡婦福祉連合会の奨学金の支援があったから叶えることができたと思っています。今この仕事ができている事に感謝してこれからはたくさんの子ども達に書写書道の楽しさを知ってもらえる様な先生を目指します。本当にありがとうございました。

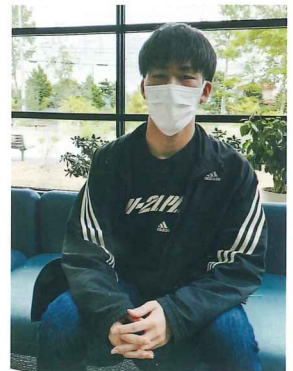
道東

一級建築士を 目指して

釧路市 杉村 和真

私は今現在釧路工業高等専門学校に在籍しています。本来ならば今年3月には卒業をしていたはずなのですが、高水準の授業に理解が追いつかずいた所、起立性調節障害という身体症状を伴う病気にかかり、学校を休みがちになってしまいました。そのため留年を経験し、益々学校へ行く意欲がなくなってしまうました。

そこで母と連日話し合い、学費がかかっってしまうが、しっかり卒業をしよう、と決めました。アルバイトで学費を補助する事も考えましたが、授業について行けなくなる可能性を考慮し、母子寡婦福祉連合会様からの奨学金を利用させていただきました。事で授業料の足にさせていただきました。何故私が中退を選ばずに通い続ける選択をしたのかというと、母



図書館にて、学習の合間の休憩

方の祖父の存在があったからです。祖父は設計、大工と何でもこなす人であった一方、自分にも他人にも厳しい人でした。そんな祖父に私もよく叱られました。そんな祖父に私になりたいと伝えた時の祖父の笑みが忘れられない事、そして応援すると言われた事が原動力になっているからです。

まだまだ一級建築士になるには学ばねばならない事もたくさんあります。しかし初心忘れるべからず、今後も身を引き締めて頑張ります。

令和6年度も道新振興基金さん、北洋銀行さん、北海道CGCみどりところの基金さんから助成をいただき、奨学金が給付されました。



向かって かして翔く!

北 道

勉強と実践を積み重ねて 正社員を目指す

旭川市 奨学金受給者

この度は、3年間奨学金を頂き誠にありがとうございました。長きに渡りご支援を頂き心から感謝しております。高校での学業に専念する生活環境ができ、とても充実した3年間を心置きなく過ごせたのも、支給して頂いたお陰です。

中学の頃は自分の本音を伝えるのが苦手で、気持ちを塞いでいる事が多かったのですが、母と相談し通信制高校に入学しました。そこでの環境では、担任の先生や友人が親身に寄り添ってくれました。私は現在、近くの病院でパートとして勤務しておりますが、この新しい環境でも、積極的な発言や行動を心がけていられるのは、高校の頃支えてもらった方々の影響が大きいです。

そしてこの高校は、幅広い勉学に力を入れている学校であり、基礎学を学ぶのと同時に、自分の身につけたい分野の知識を追求する事ができました。特に英語表現

と論理は、授業の中で同級生と交流をし、より理解を深められたので、思い入れのある教科です。

高校の頃培った知識や経験、また金銭面、精神面で大きく支えて頂いた方々への感謝を忘れず、これからも過

ごしていきたいと思います。そして女手一つで育ててくれた母へ恩返しをするために、正社員を目指して勉強と実践を積んでいきたいと思います。

夢を応援基金

「ひとり親家庭支援奨学金制度」では、北海道で14名に給付されました。

「夢を応援基金」奨学金

「ひとり親家庭支援奨学金制度」

- 対象 ひとり親家庭の中学3年生、高等学校、高等専門学校(1年生～3年生)等に在籍する生徒
- ①ひとり親世帯(母子家庭、父子家庭)であり就学に関して経済的に困難な生徒
 - ②夢を実現するための意欲があり、社会への貢献を希望している品行方正な生徒
 - ③道母連の会員、及び入会を希望する子ども(生徒)
 - ④道母連理事長が奨学生として推薦するに相応しい生徒

給付額 月額3万円(返済不要)
 募集数 全国400名
 お問い合わせ 道母連事務局
 TEL(011)261-0447
 月～金/午前9時～午後5時

夢と希望に 奨学金を生かす



今春、五稜郭公園にて弟と

道 央

高校3年間から 将来へ向けて

当別町 中山 姫良

私の高校での3年間は、本気で取り組むことのできるものを見つけることができた時間でした。私は放送局という部活に所属しており、音声の番組を制作したり、朗読をしたりしていました。同期や先輩、後輩、顧問の先生と協力しながら本気で部活に取り組んだ結

川市、全国大会は東京で開催されており、交通費も宿泊費も多くかかりました。そのためにいただいた奨学金を使い、不安なくこれらの大会に出場することができました。3年間の部活、大会で得られた経験や共に頑張った仲間や先生とのつながりも私にとってかけがえのないものとなりました。

現在、私は公立はこだて未来大学という函館の公立大学へ進学し、システム情報科学を学んでいます。地元である当別町を離れて大学へ行くというのは大変なことも多いですが、その分貴重な経験をさせていただいています。将来は、高校で興味を持った朗読とシステム情報科学を掛け合わせて、朗読を使って高齢者の方を支援していけるようなシステムを開発したいと考えています。この目標を達成するために、大学生活を頑張っていきたいと思っています。



2022年
高文連放送コンテスト
全道大会朗読部門の様子

果、全道大会、全国大会に進むことができた。全道大会では旭



令和6年度
大学入学式にて

令和6年度 北海道善行賞(優良ひとり親家庭)表彰



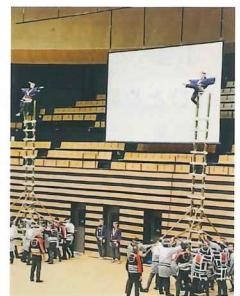
鈴木知事からの表彰状
左から畑理事長とお母さん

函館市母子寡婦福祉会

若山 恵美

この度、北海道善行賞受賞の連絡を頂き、表彰式では道庁知事会議室にて鈴木知事にお会いする事が出来て大変貴重な経験をさせていただきました。受賞式へは今まで子育てに沢山協力してくれた母も同席してもらい、少しは親孝行できたかなと思っております。

離婚してしばらく経ち、長男が高校進学する時から、函館母子寡婦福祉会へ入会し、4人の息子達みんなが奨学金の支援を頂き、とても助かり、大変感謝しています。4人の息子達を育てる為、19年間学校給食の仕事しながらアルバイトもしました。息



函館市消防団員として「函館市消防初出初式」にて函館初の手乗り梯子参加、右手が筆者

子達は私の料理よりも母が作ってくれた料理と学校の給食で大きくなりました。私が息子達の相談に乗ってあげれない時は妹夫婦に話を聞いてもらっていつもお世話になりました。片親家庭はPTA活動をしな



長男の結婚式、頼もしい4兄弟

と言われるのが嫌で積極的に参加していたら、日本PTA全国協議会より賞を頂き励みになりました。現在、長男は消防士として函館

地域の人々を守ってくれています。弟達3人は、それぞれ本州に渡り、自分の夢を叶える為日々頑張っています。私も息子達に負けない様に、これから母子寡婦会へ恩返ししながら民生児童委員としても、困っているお母さん、子ども達をサポートし、函館市消防団員としても地域を守って行こうと思います。

富良野市白菊会

川口 邦子

この度は北海道善行賞を頂き、大変ありがたうございます。思いがけない受賞に驚きと嬉しさの気持ちでいっぱいです。又、受賞式では直接、鈴木知事から表彰と二緒に写真撮影をして頂き、非常に貴重な経験で光栄に思います。

今、振り返ると、ひとり親になって19年、近所に住む両親や姉夫婦に支え協力してもらいながら無我夢中で過ごして来ることができました。そんな中、子供達が大学1年、高校3年、高校1年だった4年前、介護福祉士として必死に働いていた頃、乳がんを患い、余儀なく抗がん剤治療で辛い闘病生活が始まりました。けれども、大切な3人の子供



知事と記念写真、筆者は右から3人目

を絶対に大卒卒業させると強い執念を持ち続け、そして、家族をはじめ友人や知人の沢山の励ましのお



家族共通の楽しみ野球観戦
エスコンフィールドにて
右が筆者、次女、長男と



初の飛行機での家族旅行
ディズニーシーにて

陰で過酷な闘病生活を乗り越えることができ、大変に感謝しています。現在は少しずつですが元気になります。時間勤務ができるまでになりました。がんを患ったことで、家族や友人や私が縁する人達をかけたのな存在であり大切にしていかななくてはならないと思える様になりました。まだ治療は続きますが、これからも自分ができることは、色々させて頂き、沢山の周りの方達に恩返しして行きます。

売上を伸ばしています!



整理整頓され、清潔な厨房。
混雑時には事務所スタッフも応援に



3人のスタッフでフル回転
中央が筆者の本間さん

3人のスタッフで平日の昼食と、宿泊客の朝食・夕食を提供しています。昼食は近隣の会社の常連さんがメインで、毎日来て下さる方も多いです。その為、日替わり定食の献立は、栄養バランス以外にも、和洋中様々な味が楽しめるよう工夫しています。
新型コロナの流行に伴い席を減

道母連事業報告
お食事処「ぼれん」
本間 恵

そば・うどんは各種メニュー豊富



冷やしたぬき
季節限定もあります



かしわそば



カツカレー
カレー・キーマカレーも

らした事もあり、一時的に売り上げは減少しましたが、今年に入ってからコロナ以前よりお客様が増えている感じがします。物価が上昇し続ける中でもご利用いただけることを大変有難く思い、これからもスタッフ全員で協力して頑張っていきます。

栄養バランス良く、和洋中も工夫される日替わり定食



親子丼
玉子丼もあります



清掃事業従事者研修会

新人8名の
自己紹介



(株)リンレイさん、タケヤ刷子工業(株)さんの資料を使って実践講義
次々と積極的に体験

令和6年度
清掃作業従事者研修会
日時 6月15日(土)
9時~16時30分
場所 母子センター研修室
参加数 33名

研修会初参加の感想
佐藤裕希 (医大)
日々の仕事中には落ち着いて作業手順を見直す余裕がなく、研修でヒヤリハットの情報収集、作業手順の再確認が出来て良い機会になりました。今後の清掃で生かせる様頑張ります。
佐々木恵理香 (相談所)
清掃の基本と心得を改めて学ぶことが出来ました。業務の参考にしたいお話もあり、今後に生かしていければと思います。
齊藤育子 (道庁)
他の方との意見交換や清掃用具の業者さんのデモンストレーションでいろいろな清掃用具を体験できて良かったです。



グループ討議、発表



社会保険労務士
千葉俊幸先生



熱心に研修する参加者



DVD 視聴



監督・指導者の鈴木真由主任・
工藤晶子主任・金山裕花主任

北海道立高等看護学院 (旭川・紋別・江差)入学生募集

看護師等を養成する北海道立高等看護学院では令和7年度の入学生を募集しています。

看護学院では新規卒卒者のほか、社会人の入学者を対象とした試験区分も設定、看護学科は、各学院の試験会場に加えて、札幌試験会場を設置しています。

看護学院は公立のため、授業料が割安なこと、卒業後一定期間条件を満たす医療機関等に勤務後は返済を免除される「北海道看護職員養成確保修学資金」(月額3万6千円)を受けることができます。

また、ひとり親の方で要件に該当する方は、「高等職業訓練促進給付金」(住民税非課税世帯の場合月額10万円)が受けられます。

詳しくは、入学生の募集及び修学資金については、北海道医務薬務課看護政策係(011-204-5251)、給付金については、お住まいの市又は振興局にお尋ねください。



入学生募集



修学資金



高等職業訓練給付金

… 宿泊・貸室 ぼれん …



檜山北高校野球部

ご利用いただきました
若く、明るい声が
戻ってきました

今年もお迎えしました 「苗穂地区子ども樽みこし」「渡御」



おくやみ

ご逝去をいたみ謹んで
ご冥福をお祈りいたします。

岩本 允さん 令和5年11月23日
元道議会議長

60年の歩みの母子福祉センター
で渡部タミ前理事長たちと対談し
たのが、先生がセンターにいらした
最後になりました。天空のかな
たで榊原常務理事や真鍋副会長た
ちと道母連の将来を話し合っ
てください。

土坂キヨ子さん 令和6年1月22日
有限会社サンセイル土坂直彦社長
ご母堂

松岡せつ子さん 令和6年5月7日
元道母連監事

元当別町母子寡婦会会長

道母連へは自宅の畑で採れた野菜をたくさん抱えてきてくださいました。

道母連母子福祉振興基金へ
ご芳志ありがとうございました
基金累計額(令和6・7・31現在)
一一一、七二七、四三七円

編集後記

令和2年の新型コロナウイルス感染症という目に見えない脅威に世界中が怯えて暮らす日々が続く、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行となり、元の生活に戻つつある中、年明早々に石川県能登半島地震、羽田空港で日本航空機と海上保安機が衝突炎上し、乗客乗員の379名が奇跡の全員脱出、海上保安機の乗員1名を除き5名が亡くなる痛ましい事故に日本中が、驚きにつつまれました。今もお避難生活を送っている方々がおられ、復興も思うように進まず、もどかしい感じがいたします。

そんな中、令和6年6月29日(土)5年振りに道母連研修会が、対面で多数の出席のもと開催され、行政説明、意見交換など有意義な研修会となりました。今後も何ごともなく研修会が開催されることを切に願うところです。

また、会員の皆様にはお元気で過ごされますよう思うところです。道母連だよりは会員皆様からのご協力をいただき今後も発行して参りたいと思います。
(原田さつき)